

1 国語に関する調査

【特長】

- 情報と情報、語句と語句との関係を図に示すことによって、書きたいことを整理したり、考えをまとめたりすることができることを理解している児童が多い。思考ツールを活用した指導や、「書く」ことに特化した朝学習の成果であると考え。
- 文や文章の意味を正確に読み取り、送り仮名に注意して漢字を正しく書くことができていた。日々の学習で、既習の漢字を使うことを意識できるようになってきたと考える。

【課題】

- 資料を活用するなどして、聞き手の状況に応じて表現を工夫することに課題がある。聞き手を引き付ける話し方や、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力を身に付けさせたい。
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題があった。日常的な読書活動を通して、直接的な表現だけでなく暗示的な表現の仕方にも着目できるようにしていきたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- 示された場面を解釈し、数量の関係を、□を用いた式に表す問題については、よくできていた。今後も問題の解決において、問題の文脈に沿って図などに表し、数量の関係を捉え、式に表すことができるようにしていきたい。
- 除数が小数である場合の除法の計算の仕方として、除数、被除数を10倍して整数の除法と同じ考え方で答えを導き出すという方法を身に付けている児童が多かった。計算の基礎トレーニングを積み重ねてきた成果であると考え。

【課題】

- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基にどちらが速いか判断し、その理由を記述する問題に課題がある。問題の意図を理解した上で、自分の考えを表現する力を身に付けさせたい。
- 提示された条件や情報から、必要な数値などを用いて問題解決する力に課題がある。資料から必要な事柄を読み取ったり、活用したりする経験を重ねていきたい。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」という質問に、全員の児童が「当てはまる」または「どちらかという当てはまる」と回答した。国語科の研究を続け、授業改善に取り組んできた成果だと考える。
- 学習の中で、PCやタブレットなどのICT機器を活用して、楽しみながら学習を進めたり、友達と協力して学習を進めたりすることができたと回答した児童が多かった。今後も様々な場面で活用の幅を広げていくことによって、児童の主体的な学習につなげていきたい。

【課題】

- 平日に1日2時間以上テレビゲームをしていると回答した児童や、学校が休みの日に1日当たり勉強をする時間が「1時間より少ない」または「全くしない」と回答した児童の割合が高かった。放課後の過ごし方や自主学習への取り組み方について、家庭と連携して改善していきたい。
- 「新聞を読んでいる」と回答した児童が少なく、活字離れや社会情勢への興味関心の薄さが懸念される。今後、国語科の授業などで新聞を教材として取り入れることを考えていきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 「いのち」「こころ」「ことば」の3つを相模小の合言葉に、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にすることを育成する指導の継続を図っていく。また、家庭と協力し、子どもたちが正しい言葉遣いを身に付けられるようにしていきたい。
- ペア学年を意識した教室配置によって、異学年間の交流が自主的に生まれている。上学年はリーダーシップや思いやりの心、下学年は上学年に対するあこがれの気持ちが育つと共に、自分を見つめ直すよい機会になるようにしていきたい。
- 朝の時間に全学年で取り組んでいる「書くトレーニング」で学んだことを生かして、自分の考えを表現できるようにしていきたい。
- 読書スペースや大階段を活用した児童の自発的な読書活動を、今後も大切にしていきたい。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 学校では児童会を中心に、「自分から進んであいさつができる子になろう」を目標にかかげて取り組んでいます。ご家庭においても、日常生活の中で「あいさつ」が習慣化されるようご協力をお願いいたします。
- ご家庭での学習の習慣を身に付けてほしいと考えています。家庭学習の充実が図れるよう、お子様への声かけや支援をお願いいたします。
- 地域の皆様におかれましては、子どもたちの教育活動への支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。今後も、地域で育つ子どものサポートをよろしくお願いいたします。